

2016 年度草の根完成式典報告

案 件 名 : チョンチ消防団消防車整備計画
被 供 与 団 体 : チョンチ消防団
実 施 日 時 : 2017年 10 月 19 日(木)18 時 30 分～20 時 00 分
出 席 者 : 先方／オジャルスン市長、バスケス州消防団代表、ゴメス総督ら他
当方／平石大使夫妻、高橋委嘱員

1. 計画概要とその経緯

贈与契約締結: 2016 年 12 月 15 日
契約上完了期限: 2017 年 12 月 14 日
完 成 式 典 : 2017 年 10 月 19 日(予定より早い)

2. 完成式典の報告

従前、チョンチ消防団が所有する消防車(1999 年フランス製)は老朽化しており、故障が常態化していた。また、搭載機材も故障が目立ち、特に消火活動に必要な水タンク部分には破損による水漏れがみられ、度重なる修理のため修理費がかさむだけでなく消防活動にも影響を及ぼしていた。右状況の中、草の根による支援と日本の中古消防車を提供する(社)日本外交協会の協力により、日本の中古消防車が供与され、迅速で適切な消防活動が実現されるようになる。

式典は第三分隊消防署で行われ、市長、州消防団代表、消防団総督、団員、市民らが出席し完成を喜んだ。

本使は、「我が国は人間の安全保障の考え方を推進し、近年はチリに消防車や森林火災の消火剤の供与を行った。今般、日本の中古消防車が整備され、迅速な消火活動が行えるようになる。チロエの素敵な景観や世界遺産の教会群を守るために、万が一の火災には、消防団の方々やこの消防車が活躍することを願っている。」と述べた。

オジャルスン市長は、「ようこそチョンチ市へ。本日、このような機会に平石大使夫妻をはじめ、皆さんにお会いできることをとても嬉しく思う。この度の日本からの大切な供与は、日本との友好をさらに強化していくものである。先ほどの両国家斉唱は、日本とのチリのこれまでの友好、夢、約束を反映しているものであった。120 年の日本との友好、約束は今後も続いていく。また、サルモネス・アンタルティカ社さんにも感謝の意を述べたい。今後も共に地域のために働いていきたい。」と述べた。

ゴメス総督は、「日本からの供与をたいへん感謝している。供与された消防車は、人口約 1 万 5 千人、約 330km² の私の地域を守り、人命を救ってくれている。この消防車は、今年の 5 月に受領し、今もとてもいいコンディション、豊富な水量で活躍している。」と述べた。

3. 完成式写真



式典会場の様子



消防団員整列の様子



本使スピーチ



市長スピーチ



総督スピーチ



テープカット



市長による記念品贈呈



消防団員による行進



消防車の行進



記念撮影



消防車写真1



消防車写真2